

協働のまちづくり協議会（第8回）議事概要

- 《日 時》 平成 29 年 11 月 21 日（火） 10 時～15 時 35 分
《場 所》 中央保健福祉センター地下 1 階会議室
《出席者》 犬塚 裕雅 会長、杉浦 利彦 委員、牧野 昌子 委員（途中から参加）、
江藤 政継 委員、野村 圭子 委員、門 良英 委員
《傍聴者》 0 名（非公開）

1 開会

欠席者報告・委員会定数確認

2 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

3 議 題

(1) 平成 30 年度協働事業本審査

- ・協働事業提案制度の申請事業と利害関係のある委員を確認した。
- ・仮集計表をもとに各事業の意見交換を行い、点数を確定した。
- ・採択すべき事業、採択すべきでない事業を決定した。
- ・採択すべきでない事業については不採択理由を、また必要に応じて、付帯意見をまとめた。
- ・審査結果、付帯意見等については、別添のとおり。

(2) 平成 30 年度市民活動助成事業本審査

- ・市民活動助成制度の申請事業と利害関係のある委員を確認した。
- ・仮集計表をもとに各事業の意見交換を行い、点数を確定した。
- ・採択すべき事業、採択すべきでない事業を決定した。
- ・採択すべきでない事業については不採択理由を、また必要に応じて、付帯意見をまとめた。
- ・審査結果、付帯意見等については、別添のとおり。

(3) 協議経過書審査

- ・協働事業一次選考を通過したが、その後、具体的な企画提案を計画していく過程で、提案に至らなかった 2 事業の協議経過についてまとめた協議経過書について、協議会として承認した。

《付帯意見及び不採択理由以外の意見》

子どもたちがつくる青少年会館居場所事業（協働事業）

- ・評価を高めるといえる点で言えば、この2年間の取り組みを「ちばコラボ大賞」に応募すると良い。エントリーするだけでも価値があるので、ぜひ薦めてほしい。（委員）

笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業（スタート助成）

- ・年一回程度の有料公演を検討されてはいかがか。（委員）

シニア世代生き生き地域資源マップ作り事業

- ・地図を作ることが目的なのではなく、地図は媒体である。作ることを口実にして、新旧住民が擦り合うように、場を設えていくところが大事だと思う。そうなるためには、来年いきなり始めるのではなく、今年から少しずつ関係づくりをして、コミュニティカフェが、皆の馴染む場になってもらうところからスタートしてほしい。（会長）

4 閉会

平成30年度 協働事業 審査結果

順位	事業名	団体名 担当課名	採択の 適否	負担金額 (円)	付帯意見又は理由
1	子どもたちがつくる青少年会館居場所事業	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会 生涯学習推進課 青少年会館	適	190,000	-
2	災害時要配慮者支援事業	小金原連合町会防災部 危機管理課	適	500,000	<付帯意見> 小金原モデルの具体化に至るように事業を実施してほしい。
3	公共サイン改善事業	都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会 都市計画課	適	140,000	<付帯意見> 事業終了後に具体的な公共サインのモデルを提示し、その先を見据えた取り組みが出来るよう、特に担当課の動きを強化してほしい。 公共サイン定期便及びワークショップが成功するように、担当課は庁内連携を強化し、事業成功につなげてほしい。
-	外国人市民と日本人市民の多文化共生事業	AAI 文化観光国際課	否	87,552	<不採択理由> 外国人留学生や日本人学生から始めることを理解はするが、地域社会のなかで生活している者としての当事者性が弱い。 <付帯意見> 外国人市民と日本人市民において違いが生じる文化的な背景を含めた根本に理解が及ぶようなワークショップへ再構築してほしい。

平成30年度 協働事業 協議経過書提出事業（3者協議の結果、事業企画書の作成に至らなかった事業）

-	松戸みまもり事業	Code for Matsudo 市民安全課	承認	-	<付帯意見> 特になし
-	地域ねこ活動推進事業	まつど地域ねこ会 環境保全課	承認	-	<付帯意見> 特になし

平成30年度市民活動助成事業 審査結果

■平成30年度 市民活動助成事業（スタート助成）

優先順位	事業名	団体名	採択の適否	助成金額(円)	付帯意見又は理由
1	こども福祉フェスタ事業	Familink*	適	100,000	-
2	食を通じての多世代交流事業	小金ほのぼの食堂の会	適	90,000	-
3	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	適	100,000	-
3	「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	適	100,000	-
5	世代を超えた交流ができる地域コミュニティの場をつくる事業	明地区こあら食堂の会	適	100,000	-
6	地域猫ってなんだろう？野良猫トラブルなくそう事業	動物福祉団体いのち	適	100,000	<付帯意見> 「地域猫活動」を知る映画鑑賞会は活動の仲間を増やす好機ともなるので、積極的に活用し、活動の裾野が広がることを期待します。
7	音楽活動によるまちの活性化事業	松戸合唱まちづくり同好会	適	100,000	-
8	無塩パン普及事業	数値調理会	適	100,000	<付帯意見> 無塩パンの食生活を普及していくために、無塩パンを美味しく食べられるよう、副食やディップを研究し事業展開してほしい。

9	子供の居場所からの発信による地域ネットワーク構築事業	さくら広場の会	適	100,000	<付帯意見> 子どもたちが楽しみにする工作教室や、ワークショップなどが無事に催されるように、子どもたちの安全管理に注意して体制を整えてほしい。 併せて、万が一に備えて行事保険などの加入を検討してほしい。
10	シニア世代生き生き地域資源マップ作り事業	ほっとする街を考える会kinari	適	58,000	-
-	音楽活動による「心の支え」事業	リラの友 松戸	否	100,000	<不採択理由> 歌う音楽祭を催す際に、予算の大半を占めているプロのミュージシャンや司会者を起用することについての有効性が不明確であるため。 <付帯意見> これまでの団体の個性と力を大切に活動を展開されることを期待する。

■平成30年度 市民活動助成事業（ステップアップ助成）

優先順位	事業名	団体名	採択の適否	助成金額(円)	付帯意見又は理由
1	「笑顔のお節介推進活動」事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	適	200,000	-